

フルフェノクスロン (案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼及び魚介類への基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：フルフェノクスロン [Flufenoxuron (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

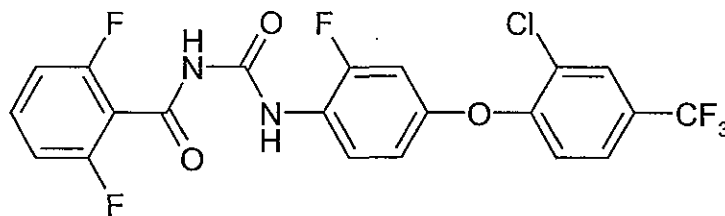
ベンゾフェニル尿素系殺虫剤である。昆虫の体内に取り込まれることにより、キチン質の合成を阻害することで、幼虫の脱皮時に不完全な脱皮を促すことにより作用すると考えられている。

(3) 化学名：

1-[4-(2-chloro- α, α, α -trifluoro-*p*-tolxy)-2-fluorophenyl]-3-(2,6-difluorobenzoyl) urea (IUPAC)

N-[[4-[2-chloro-4-(trifluoromethyl)phenoxy]-2-fluorophenyl]amino]carbonyl]-2,6-difluorobenzamide (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{21}H_{11}ClF_6N_2O_3$
分子量	488.5
水溶解度	0.0043mg/L (25°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 4.01$ (25°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

【作物名】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

10. 0%フルフェノクスロン乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
りんご	ナミダニ リンゴハダニ	2000 倍	200~700 L/10a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
	キモンホリガ ギンモンハモリガ	2000~4000 倍					
	ハマキムシ類	2000~6000 倍					
	ヨモギエダシヤク	4000 倍					
なし	ハダニ類 ハマキムシ類	2000 倍					
	ハダニ類	4000 倍					
もも	ハマキムシ類			4000 倍			
	モモハモリガ	2000~4000 倍					
ネクタリン	ハダニ類	2000 倍		収穫 21 日前まで			
	ハマキムシ類	4000 倍					
	モモハモリガ	2000~4000 倍					
おうとう	ハマキムシ類 ヒメシロモントウガ	4000 倍	収穫 7 日前まで				
かんきつ	ミカンハモリガ チャノキイロアザミウマ ミカンサビダニ	2000~4000 倍					
	ミカンハダニ	1000~2000 倍					
茶	チャノコカクモンハマキ チャノホリガ チャノミドリヒメコバエ チャハマキ ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ チャノホコリダニ	4000 倍	200~400 L/10a	摘採 7 日前まで			
キャベツ	コナガ アオムシ タマキノウバ ハスモンヨトウ ヨトウムシ ハイダラメイガ	2000~4000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前まで			
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ						
レタス 非結球レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	4000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内	3 回以内		

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェナクソンを含む農薬の総使用回数
だいこん	アオムシ	2000~4000倍	100~300 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
はつか だいこん	コガ ハマダラメダカ	4000倍		収穫7日前まで	1回		1回
トマト	マメハモク リバエ オオタバコガ	2000~4000倍		収穫前日まで	4回以内		4回以内
	ミカンキイロアザミ ミマ トマトハモク リバエ	2000倍					
ミニトマト	マメハモク リバエ オオタバコガ	2000~4000倍		2回以内	2回以内		2回以内
	ミカンキイロアザミ ミマ トマトハモク リバエ	2000倍					
なす	ミミキイロアザミ ミマ	2000~4000倍		収穫前日まで	4回以内		4回以内
	マメハモク リバエ ハダニ類	2000倍					
ピーマン ししとう	オオタバコガ	4000倍		3回以内	3回以内		3回以内
セルリー	マメハモク リバエ コナジラミ類 ハスモンヨトウ						
パセリ	ハスモンヨトウ	4000倍		3回以内	3回以内		3回以内
ねぎ	シロイモジヨトウ ネキハモク リバエ						
いちご	ハスモンヨトウ ミカンキイロアザミ ミマ	2000~4000倍		4回以内	4回以内		4回以内
きゅうり	ミミキイロアザミ ミマ						
		ウリノメイガ トマトハモク リバエ		2000倍	収穫前日まで		4回以内
すいか	ミミキイロアザミ ミマ オオタバコガ マメハモク リバエ	2000~4000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
	シロイモジヨトウ	4000倍					
メロン	ミミキイロアザミ ミマ タバココナジラミ類 (シバリーフ コナジラミを含む) トマトハモク リバエ	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
	かぼちゃ	トマトハモク リバエ					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
しろうり	ウリノメイガ ミナキイロアザミウマ	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	1回	散布	1回
うり類 (漬物用) (しろうり、 とうがんを 除く)	ミナキイロアザミウマ			収穫3日前まで			
非結球 あぶらな科 葉菜類 (ケールを除く)	コナガ アオムシ マハエダリハエ			2回以内	収穫7日前まで		4回以内
てんさい	ヨトウムシ	2000~ 4000倍	4回以内	4回以内			
	テンサイモガリハナハエ カモノコバムシ ナミダニ アザミウマ類 アザミウマ類 ヨトウムシ	4000倍					
	ヨトウムシ	1000倍	25L/10a				
アスパラガス	ハスモンヨトウ オオカバコガ	4000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	2回以内	
しゅんぎく	マハエダリハエ アザミウマ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2000~4000 倍		収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
にがうり	マハエダリハエ ウリノメイガ アザミウマ類			収穫前日まで	4回以内	4回以内	
なばな類	ヨトウムシ類 ハエダリハエ類			収穫21日前まで	3回以内	3回以内	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェキサロンを含む農薬の総使用回数			
ほうれんそう	ハスモンヨトウ マハモクシャバエ シオビノメイガ 納メノウカガコダニ アシガロハモクシャバエ	4000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内			
さやえんどう	シイモジヨトウ	2000倍		マハモクシャバエ	収穫前日まで		2回以内	2回以内		
そらまめ	ハスモンヨトウ						3回以内	3回以内		
さやいんげん							2回以内	2回以内		
未成熟 そらまめ							3回以内	3回以内		
実えんどう	シイモジヨトウ						4000倍	ハスモンヨトウ	収穫7日前まで	2回以内
だいず えだまめ	未成熟ささげ	3000倍		収穫前日まで						
未成熟 ふじまめ										
きく(葉)	アザミヤカ類	4000倍		収穫7日前まで	1回					
みつば	ハダニ類 キダマハ	2000倍		収穫7日前まで 但し、伏せ込み 栽培は伏せ込 み前まで	2回以内		2回以内			
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	4000倍		収穫7日前まで	3回以内		散布、但し 花穂の発生 期にはマルチ フィルム被覆に より散布液 が直接花穂 に飛散しな い状態で使 用する	3回以内		
みょうが (花穂)		2000倍		収穫前日まで						
みょうが (莖葉)				みょうが(花 穂)の収穫前日 まで 但し、花穂を収 しない場合に あっては開 花期終了まで					散布	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェキサズンを含む農薬の総使用回数
食用さくら(葉)	アザミウマ類	4000倍	200~700 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
くきちしゃ	ハスモンヨトウ オタバコガ			3回以内	2回以内		2回以内
しそ科葉菜類 (バジルを除く)	ハスモンヨトウ			2回以内			
バジル	ハスモンヨトウ マハモク リバエ				2回以内		2回以内
食用トレニア タラゴン	ハスモンヨトウ			収穫7日前まで			
チャービル ゆきのした ディル(葉)				収穫前日まで			
つるむらさき				収穫前日まで			
とうがん	シキイロアザミウマ	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	3回以内		3回以内
食用ぎく	マハモク リバエ シキイロアザミウマ			収穫7日前まで	2回以内		2回以内
甘長とうがらし	シキイロアザミウマ	4000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
食用ミニバラ	シキイロアザミウマ	2000倍	収穫3日前まで	2回以内	2回以内		
しそ(花穂)	ハスモンヨトウ	4000倍	収穫7日前まで				
ふだんそう							

作物名	適用病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
あずき	ナミダニ	4000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
かんしょ	ハスモンヨトウ			収穫3日前まで			
にんじん	ヨウムシ			収穫14日前まで			
すもも	ケムシ類	2000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
わさびだいこん	コガ	2000～4000倍					
非結球あぶらな 科葉菜類	コガ アオムシ マハモクリバエ	2000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
せり科葉菜類 (みつば、パセリ、 セリを除く)	ハスモンヨトウ	4000倍		収穫7日前まで 但し、伏せ込み 栽培は伏せ込 み前まで			
みつば	ハスモンヨトウ ナミダニ類 キダマ	2000倍		収穫7日前まで			
パセリ	ハスモンヨトウ	4000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
セルリー	ハスモンヨトウ マハモクリバエ コジラミ類			収穫14日前まで			
未成熟 とうもろこし	アヲメカ	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内		
モロヘイヤ	ハスモンヨトウ	4000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内		

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

フルフェノクスロン

② 分析法の概要

試料からアセトン又はジクロロメタンで抽出・濃縮後、ヘキサンに溶解し、アセトニトリルへ分配する。フロリジルカラム及びシリカゲルカラムで精製後、高速液体クロマトグラフ (UV) で定量する。

定量限界 0.002～0.4 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については、別紙1を参照。

4. 魚介類への推定残留量

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、農林水産省から魚介類に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、本剤の水産動植物被害予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数（BCF：Bioconcentration Factor）から、以下のとおり魚介類中の推定残留量を算出した。

(1) 水産動植物被害予測濃度

本剤が非水田においてのみ使用されることから、非水田 PECTier1^{注2)}を算出したところ、0.011ppb となった。

(2) 生物濃縮係数

¹⁴C-標識フルフェノクスロンを用い、60日間の取込期間を設定したニジマスの魚類濃縮性試験が実施された（濃度 34～53ng/L）。フルフェノクスロンの分析結果から BCF_k^{注3)} = 25920 と算出された。

(3) 推定残留量

(1)及び(2)の結果から、フルフェノクスロンの水産動植物被害予測濃度:0.011ppb、BCF：25920 とし、下記のとおり推定残留量が算出された。

$$\text{推定残留量} = 0.011 \text{ ppb} \times (25920 \times 5) = 1425.6 \text{ ppb} \approx 1.43 \text{ ppm}$$

注1) 農薬取締法第3条第1項第6号に基づく水産動植物の被害防止に係る農薬の登録保留基準設定における規定に準拠

注2) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出したもの。

注3) BCF_k：被験物質の取込速度定数と排泄速度定数から求められた BCF。

(参考)：平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

5. ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフルフェノクスロンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：3.7 mg/kg 体重/day

(動物種)	イヌ
(投与方法)	混餌投与
(試験の種類)	慢性毒性試験
(期間)	1年間

安全係数：100

ADI：0.037 mg/kg 体重/day

マウスの発がん性試験で肝細胞癌及び血管系腫瘍の増加が認められた。肝細胞癌については、用量相関性がなく、肝細胞癌と腺腫との合計では対照群との間に有意差が認められないこと、肝・複製 DNA 合成試験が陰性であったこと、発現頻度が背景データ範囲内であること、一方対照群の発現率が背景データの範囲を下回ったこと等により、フルフェノクスロン投与によるものではないと考えられた。血管系腫瘍の増加は、マウスの背景病変の一つであり、フルフェノクスロン投与の影響ではないと考えられた。

なお、評価に供された遺伝毒性試験の *in vitro* 試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め *in vivo* 試験では陰性の結果が得られたので、フルフェノクスロンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

6. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国において乳に、EUにおいて柑橘類、仁果類等に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

フルフェノクスロンとする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物及び魚介類中の暴露評価対象物質としてフルフェノクスロン (親化合物のみ) を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限の量まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のフルフェノクスロンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量 (推定1日摂取量 (EDI)) のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全

くないとの仮定の下に行った。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	16.1
幼小児 (1~6歳)	29.7
妊婦	13.3
高齢者 (65歳以上)	17.2

注) 個別の作物残留試験成績等がある食品についてはEDI試算、それ以外の食品についてはTMDI試算を行った。

TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

フルフェノクスロン 作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 500L/10a	1回	13, 20, 29日	圃場A:0.193 (1回, 29日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.092 (1回, 21日)
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 500L/10a	2回	13, 20, 29日	圃場A:0.342 (2回, 29日)
					14, 21, 28日	圃場B:0.231 (2回, 28日)
りんご (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 400L, 600L/10a	1回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A:0.146 圃場B:0.143
					2回	圃場A:0.265 圃場B:0.228
りんご (可食部)	1	10%乳剤	2000倍散布 600L/10a	1回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A:0.19
					2回	圃場A:0.20 (2回, 30日)
なし (可食部)	2	10%乳剤	2000倍散布 240L, 500L/10a	1回	14, 21, 30日	圃場A:0.076 圃場B:0.050 (1回, 21日)
					2回	圃場A:0.088 圃場B:0.144
もも (果肉)	2	10%乳剤	2000倍散布 400, 300L/10a	1回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
					2回	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
温州みかん (果肉)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.025 圃場B:0.020 (1回, 14日)
温州みかん (果皮)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:4.17 (2回, 14日) 圃場B:1.80
温州みかん (果実)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.629 (2回, 14日) 圃場B:0.313
夏みかん (果肉)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L, 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.053 (2回, 14日) 圃場B:0.030 (2回, 7日) (#) ^{注2)}
夏みかん (果皮)	2	10%乳剤	1000倍散布 500L, 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:1.32 (2回, 14日) 圃場B:1.1 (2回, 7日) (#)
茶 (荒茶)	2	10%乳剤	4000倍散布 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A:6.63 圃場B:7.66
					2回	圃場A:7.94 圃場B:7.22
茶 (浸出液)	2	10%乳剤	4000倍散布 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.05 圃場B:0.08
					2回	圃場A:0.06 圃場B:0.06
キャベツ (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 100-180L, 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.038 圃場B:0.022 (2回, 13日) (#)
					7, 13日	圃場A:0.050 (4回, 14日) (#) 圃場B:0.032 (4回, 13日) (#)
はくさい (葉球)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.145 圃場B:0.019
					4回	圃場A:0.134 (4回, 14日) (#) 圃場B:0.200 (4回, 14日) (#)
はくさい (葉球)	4	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.052 圃場B:0.020 圃場C:0.026 圃場D:0.004
					4回	圃場A:0.288 (4回, 14日) (#) 圃場B:0.028 (4回, 14日) (#) 圃場C:0.168 (4回, 14日) (#) 圃場D:0.008 (4回, 14日) (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
はくさい (葉球)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:0.075 圃場B:0.018
はくさい (葉球)		10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.042 圃場B:0.015
メロン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
てんさい (根部)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.069 圃場B:0.030
てんさい (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:3.40 圃場B:8.20
おうとう (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 300, 400L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.09 (1回, 14日) 圃場B:0.48
おうとう (果実)		10%乳剤	4000倍散布 300, 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.11 (2回, 14日) 圃場B:0.66
トマト (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	2回	1日	圃場A:0.08 圃場B:0.10
トマト (果実)		10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.10 圃場B:0.14 (3回, 7日)
トマト (果実)		10%乳剤	2000倍散布 250-300L, 200L/10a	4回	1日	圃場A:0.11 圃場B:0.14
いちご (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	1日	圃場A:0.04 圃場B:0.08
いちご (果実)		10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.06 圃場B:0.14
大根 (根)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:0.01 圃場B:0.02 (2回, 13日) (#)
大根 (根)		10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:0.02 圃場B:0.02 (3回, 13日) (#)
大根 (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:2.02 圃場B:0.32 (2回, 13日) (#)
大根 (葉)		10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:2.46 圃場B:0.44 (3回, 13日) (#)
セロリ (茎)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.22 (2回, 14日) (#) 圃場B:0.73 (2回, 14日) (#)
セロリ (茎)		10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.28 (2回, 14日) (#) 圃場B:0.97 (2回, 14日) (#)
セロリ (葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A:2.00 (2回, 14日) (#) 圃場B:5.58 (2回, 14日) (#)
セロリ (葉)		10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:2.55 (2回, 14日) (#) 圃場B:8.12 (2回, 14日) (#)
セロリ (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	2回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.68 (2回, 14日) (#) 圃場B:2.09 (2回, 14日) (#)
セロリ (茎葉)		10%乳剤	2000倍散布 150L, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.85 (2回, 14日) (#) 圃場B:3.19 (2回, 14日) (#)
葉ねぎ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.88 圃場B:0.12
葉ねぎ (茎葉)		10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	14, 21日	圃場A:1.52 圃場B:0.10
深ねぎ (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	4回	7, 14日	圃場A:0.159 (4回, 14日) (#) 圃場B:1.04 (4回, 14日) (#)
なす (果実)	2	10%乳剤	1000倍散布 250L, 200-250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.18 (4回, 1日) (#) 圃場B:0.88 (4回, 1日) (#)
すいか (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.03 (4回, 14日) 圃場B:<0.01
アスパラガス (茎)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L, 280L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.14 圃場B:0.15
しゅんぎく (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 160L/10a	2回	3, 7, 14日 7, 14, 21日	圃場A:5.60 圃場B:3.27
しゅんぎく (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 160L/10a	3回	3, 7, 14日 7, 14, 21日	圃場A:7.24 (3回, 7日) (#) 圃場B:2.91 (3回, 7日) (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
チンゲンサイ (茎葉)	1	10%乳剤	1000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 2.48 (2回, 7日) (#)
チンゲンサイ (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.46
ピーマン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.34 圃場B: 0.50
こまつな (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 100L/10a	1回	3, 7日	圃場A: 2.2 圃場B: 0.81
こまつな (茎葉)		10%乳剤	2000倍散布 100L/10a	2回	3, 7日	圃場A: 3.08 圃場B: 0.61
未成熟えんどう (さや)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L, 294L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.36 圃場B: 0.30
未成熟そらまめ (子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L, 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01 圃場B: 0.02
そらまめ (乾燥子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.03 圃場B: <0.01
きゅうり (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 185-300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.14 圃場B: 0.13
ほうれんそう (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L, 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A: 3.90 圃場B: 4.53
レタス (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 285L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A: 0.16 (3回, 7日) 圃場B: 0.48
みずな (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 10, 14日	圃場A: 3.26 圃場B: 1.82
みずな (茎葉)		10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 10, 14日	圃場A: 3.17 圃場B: 2.68
未成熟いんげん (さや)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 150L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A: 0.48 圃場B: 0.39
しろな (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 2.19
しろな (茎葉)	1	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 1.20
みつば (茎葉)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 5.88 圃場B: 3.80
パセリ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A: 4.80 圃場B: 3.25
だいず (乾燥子実)	2	10%乳剤	1000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.064 (2回, 14日) (#) 圃場B: 0.047 (2回, 14日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
えだまめ (さや)	2	10%乳剤	4000倍散布 250L, 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A: 1.09 圃場B: 1.54
ネクタリン (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 270L, 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.18 (2回, 28日) 圃場B: 0.22
未成熟ささげ (実)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.1 圃場B: 0.3
ミニトマト (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.19 (2回, 7日) 圃場B: 0.10 (2回, 3日)
ししとう (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 307L, 350L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 1.14 (3回, 3日) (#) 圃場B: 0.49 (3回, 1日) (#)
ブロッコリー (花蕾)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 1.59 (2回, 7日) (#) 圃場B: 0.20 (2回, 7日) (#)
みょうが (花蕾)	2	10%乳剤	2000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: <0.04 圃場B: <0.04
未成熟ふじまめ (果実)	2	10%乳剤	3000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.3 (2回, 3日) 圃場B: 0.3
かぼちゃ (果実)	1	10%乳剤	2000倍散布 170L/10a	3回	1, 8, 15日	圃場A: 0.04 (3回, 8日)
かぼちゃ (果実)		10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.02 (4回, 1日) (#)

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 ^{註1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
しろうり (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
リーフレタス (茎葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:2.34(4回, 1日) (#) (\$)
リーフレタス (茎葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.22
サラダ菜 (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150-200L, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.6 圃場B:1.8
すだち (果実)	1	10%乳剤	1000倍散布 500L/10a	2回	6, 14, 21日	圃場A:0.60(2回, 14日)
かぼす (果実)	1	10%乳剤	1000倍散布 640L/10a	2回	7, 14, 20日	圃場A:0.38
わさびだいこん (花蕾)	2	10%乳剤	4000倍散布 120L/10a	3回	21, 28, 45日	圃場A:0.03 圃場B:0.07
食用さくら (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:2.74 圃場B:3.08
しそ (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:5.54 圃場B:4.73
くきちしゃ (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.22 圃場B:0.26
バジル (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.50 圃場B:3.10
食用トレニア (花)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.45 圃場B:1.70
はっか (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.60 圃場B:3.21
ゆきのした (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 100L, 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.08 圃場B:3.50
チャービル (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.37 圃場B:5.50
つるむらさき (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.64 圃場B:2.66
とうがん (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 255L, 267L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.09(3回, 7日) 圃場B:0.12(3回, 7日)
食用ざく (花)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.9 圃場B:1.0
甘長とうがらし (果実)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.4 圃場B:<0.2
はっかだいこん (根)	4	10%乳剤	4000倍散布 100L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.02
はっかだいこん (葉)	4	10%乳剤	4000倍散布 100L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:3.1 圃場B:2.3
食用ミニバラ (花)	2	10%乳剤	2000倍散布 250L, 240L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.9 圃場B:1.1
しそ(花穂) (花)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.4(3回, 7日) (#)
しそ(花穂) (花)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.4
ふだんそう (葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.4(3回, 7日) (#)
ふだんそう (葉)	1	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.4
タラゴン (茎葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:4.0 圃場B:4.1
ディール (葉)	2	10%乳剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.2 圃場B:0.8
てんさい (根)	2	10%乳剤	1000倍散布 25L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
わさびだいこん (根)	2	10%乳剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.05 圃場B:0.03

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルフェノクスロン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かんしほ (塊根)	2	10%乳剤	4000倍散布 300L/200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
にんじん (根)	3	10%乳剤	4000倍散布 200L/250L/200L/10a	2回	3, 7, 14日 1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.04 (2回, 14日) 圃場B: 0.02 圃場C: <0.01
あずき (乾燥子実)	2	10%乳剤	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
すもも (果実)	2	10%乳剤	2000倍散布 400L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.03 (2回, 14日) (§) 圃場B: 0.03 (2回, 28日) (§)
未成熟とうもろこし (子実)	2	10%乳剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (§) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

(§)：リーフレタスの圃場Aにおける試験については、定められた適用回数を超えて試験がなされているが、第1回目散布の20分後に降雨があり、再散布した結果によるものであることから、基準値策定の根拠とした。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
とうもろこし	0.05		申			<0.01, <0.01
大豆	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
小豆類	0.05		申			<0.01, <0.01
そら豆	0.2	0.2	○			0.03, <0.01
かんしょ	0.02		申			<0.005, <0.005
てんさい	0.5	0.5	○			
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.1	0.1	○			0.02, 0.02(はつかだいこん(根))
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10	10	○			3.1(\$), 2.3(はつかだいこん(葉))
西洋わさび	0.2	0.05	○・申			0.05, 0.03 0.145(\$), 0.019, 0.052, 0.020, 0.26, 0.004
はくさい	0.5	0.5	○			
キャベツ	0.5	0.5	○			
芽キャベツ	0.5	0.5	○			(こまつな、きょうな及びチャービル参照)
ケール	10		申			
こまつな	10	10	○			3.08(\$), 0.81
きょうな	10	10	○			3.26(\$), 2.68(みずな)
チンゲンサイ	5	5	○			2.48(\$), 0.46
ブロッコリー	5	5	○			1.59(\$), 0.20
その他のあぶらな科野菜	5	5	○			2.19, 1.20(しろな)
しゅんぎく	10	10	○			5.60, 3.27
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	10	10	○			3.6(\$), 1.8(サラダ菜)
その他のさく科野菜	2	2	○			0.9, 1.0(食用ぎく)
ねぎ(リーキを含む。)	10	10	○			1.52, 0.12(葉ねぎ)
アスパラガス	0.5	0.5	○			0.14, 0.15
わけぎ	10	10	○			
にんじん	0.2		申			0.04(\$), 0.02, <0.01
パセリ	10	10	○			4.80, 3.25
セロリ	10	10	○			0.85(\$), 3.19(\$), \$
みつば	10	10	○			5.88, 3.80
その他のせり科野菜	10		申			(パセリ、セロリ及びみつば参照)
トマト	0.5	0.5	○			0.11, 0.14(トマト)
ピーマン	1	1	○			, 0.19, 0.10(ミニトマト)
なす	2	2	○			0.34, 0.50
その他のなす科野菜	3	3	○			0.18(\$), 0.68(\$)
きゅうり(ガーキンを含む。)	2	2	○			1.14(\$), \$, 0.49(\$)(ししとう)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.2	0.2	○			0.14, 0.13
しろうり	0.3	0.3	○			0.04, 0.02(\$)
すいか	0.2	0.2	○			<0.05, <0.05
メロン類果実	0.02	0.02	○			0.03(\$), <0.01
その他のうり科野菜	0.5	0.5	○			<0.005, <0.005
ほうれんそう	10	10	○			0.09, 0.12(とうがん)
未成熟えんどう	1	1	○			3.90, 4.53
未成熟いんげん	1	1	○			0.36, 0.30
えだまめ	5	5	○			0.48, 0.39
その他のきのこ類	0.1	0.1				1.09, 1.54(\$)
その他の野菜	10	10	○			4.08, 3.50(ゆきのした)
みかん	0.3	0.3	○			0.025, 0.020
なつみかんの果実全体	2	2	○			
レモン	2	2	○			
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○			
グレープフルーツ	2	2	○			
ライム	2	2	○			
その他のかんきつ類果実	2	2	○			0.60(\$)(すだち), 0.38(かぼす)
りんご	1	1	○			0.342(\$),
日本なし	0.5	0.5	○			0.231, 0.265, 0.228, 0.20
西洋なし	0.5	0.5	○			0.088, 0.144 (日本なし参照)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
もも	0.1	0.1	○			
ネクタリン	0.7	0.7	○			
すもも(ブルーベリーを含む。)	0.2		申			0.03(#), 0.03(#)
おうとう(チェリーを含む。)	2	2	○			0.11, 0.66(\$)
いちご	0.5	0.5	○			
ぶどう	2	2				
綿実	0.03	0.03				
茶	15	15	○			7.94, 7.66
その他のスパイス	10	10	○			4.17(\$), 1.80(みかんの果皮)
その他のハーブ	10	10	○			4.37, 5.50(チャービル)
魚介類	2		申			推: 1.4

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。
「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

フルフェノクスロン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
とうもろこし	0.05	0.01	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
大豆	0.05	0.01	2.8	0.6	1.7	0.3	2.3	0.5	2.9	0.6
小豆類	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
そら豆	0.2	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
かんしょ	0.02	0.005	0.3	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
てんさい	0.5	0.5	2.3	2.3	1.9	1.9	1.7	1.7	2.0	2.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	0.1	0.02	4.5	0.9	1.9	0.4	2.9	0.6	5.9	1.2
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の葉	10	2.7	22.0	5.9	5.0	1.4	9.0	2.4	34.0	9.2
西洋わさび	0.2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.5	0.0833	14.7	2.4	5.2	0.9	11.0	1.8	15.9	2.6
キャベツ	0.5	0.5	11.4	11.4	4.9	4.9	11.5	11.5	10.0	10.0
芽キャベツ	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
ケール	10	10	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
ごまつな	10	1.945	43.0	8.4	20.0	3.9	16.0	3.1	59.0	11.5
きょうな	10	2.97	3.0	0.9	1.0	0.3	1.0	0.3	3.0	0.9
チンゲンサイ	5	1.47	7.0	2.1	1.5	0.4	5.0	1.5	9.5	2.8
ブロッコリー	5	0.895	22.5	4.0	14.0	2.5	23.5	4.2	20.5	3.7
その他のあぶらな科野菜	5	1.695	10.5	3.6	1.5	0.5	1.0	0.3	15.5	5.3
レタス	10	4.435	25.0	11.1	8.0	2.7	19.0	8.4	37.0	16.4
レタス (サラダ菜及びびししゃを含む。)	10	2.7	61.0	16.5	25.0	6.8	64.0	17.3	42.0	11.3
その他のさく科野菜	2	0.95	0.8	0.4	0.2	0.1	1.0	0.5	1.4	0.7
ねぎ (リーキを含む。)	10	0.82	13.0	9.3	45.0	3.7	82.0	6.7	135.0	11.1
アスパラガス	0.5	0.145	0.5	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	0.4	0.1
わけぎ	10	10	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	3.0
にんじん	0.2	0.023	4.9	0.6	3.3	0.4	5.0	0.6	4.5	0.5
パセリ	10	4.025	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4
セロリ	10	2.02	4.0	0.8	1.0	0.2	3.0	0.6	4.0	0.8
みつば	10	4.84	2.0	1.0	1.0	0.5	1.0	0.5	2.0	1.0
その他のせり科野菜	10	10	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	3.0
トマト	0.5	0.135	12.2	3.3	8.5	2.3	12.3	3.9	9.5	2.6
ピーマン	1	0.42	4.4	1.8	2.0	0.8	1.9	0.8	3.7	1.6
なす	2	0.43	8.0	1.7	1.8	0.4	6.6	1.4	11.4	2.5
その他のなす科野菜	3	0.815	0.6	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.9	0.2
きゅうり (ガーキンを含む。)	2	0.135	32.6	2.2	16.4	1.1	20.2	1.4	33.2	2.2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.2	0.03	1.9	0.3	1.2	0.2	1.4	0.2	2.3	0.3
しろりり	0.3	0.05	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
すいか	0.2	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のりり科野菜	0.5	0.105	0.3	0.1	0.1	0.0	1.2	0.2	0.4	0.1
ほうれんそう	10	4.215	187.0	78.8	101.0	42.6	174.0	73.3	217.0	91.5
未成熟えんどう	1	0.33	0.6	0.2	0.2	0.1	0.7	0.2	0.6	0.2
未成熟いんげん	1	0.435	1.9	0.8	1.2	0.5	1.8	0.8	1.8	0.8
えだまめ	5	1.315	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他のきのこ類	0.1	0.1	1.0	1.0	0.4	0.4	0.8	0.8	1.0	1.0
その他の野菜	10	3.79	126.0	47.8	97.0	36.8	96.0	36.4	122.0	46.2
みかん	0.3	0.0225	12.5	0.9	10.5	0.8	13.7	1.0	12.8	1.0
なつみかんの果実全体	2	2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
レモン	2	2	0.6	0.6	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	2	2	0.8	0.8	1.2	1.2	1.6	1.6	0.4	0.4
グレープフルーツ	2	2	2.4	2.4	0.8	0.8	4.2	4.2	1.6	1.6
ライム	2	2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他のかんきつ類果実	2	0.49	0.8	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	1.2	0.3
りんご	1	0.253	35.3	8.9	36.2	9.2	30.0	7.6	35.6	9.0
日本なし	0.5	0.116	2.6	0.6	2.2	0.5	2.7	0.6	2.6	0.6
西洋なし	0.5	0.5	0.05	0.1	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1
もも	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.4	0.0	0.0
ネクタリン	0.7	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
すもも (プルーンを含む。)	0.2	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
おうとう (チェリーを含む。)	2	0.385	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
いちご	0.5	0.50	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
ぶどう	2	2	11.6	11.6	8.8	8.8	3.2	3.2	7.6	7.6
葡萄	0.03	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	15	7.8	45.0	23.4	21.0	10.9	52.5	27.3	64.5	33.5
その他のスパイス	10	2.985	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3
その他のハーブ	10	4.935	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5
魚介類	2	0.43	188.2	40.8	85.6	18.6	188.2	40.8	188.2	40.8
計			1040.1	316.8	545.3	173.4	882.4	274.0	1135.3	345.2
ADI比 (%)			52.7	16.1	93.3	29.7	42.9	13.3	56.6	17.2

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

高齢者及び妊婦については水産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

なお、グループで基準値が設定されている作物については、根拠となった作物以外についてはTMDI試算を行った。

(参考)

これまでの経緯

- 平成 5 年 1 1 月 8 日 初回農薬登録
- 平成 1 6 年 7 月 2 0 日 農林水産省より厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：大豆、えだまめ等）
- 平成 1 6 年 8 月 3 日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
- 平成 1 8 年 3 月 1 7 日 農林水産省より厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ミニトマト、ブロッコリー、かぼちゃ等）
- 平成 1 8 年 7 月 1 8 日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
- 平成 1 9 年 4 月 1 9 日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
- 平成 1 9 年 1 0 月 2 6 日 残留農薬基準告示
- 平成 2 2 年 6 月 9 日 農林水産省より厚生労働省へ適用拡大申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：あずき、かんしょ、西洋わさび、ケール、にんじん、すもも等）並びに魚介類に係る基準値設定依頼
- 平成 2 2 年 6 月 1 8 日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
- 平成 2 3 年 6 月 2 3 日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
- 平成 2 3 年 1 0 月 6 日 薬事・食品衛生審議会へ諮問
- 平成 2 3 年 1 0 月 1 4 日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 石井 里枝 埼玉県衛生研究所水・食品担当専門研究員
- 大野 泰雄 国立医薬品食品衛生研究所長
- 尾崎 博 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
- 斉藤 貢一 星薬科大学薬品分析化学教室准教授
- 佐藤 清 財団法人残留農薬研究所理事・化学部長
- 高橋 美幸 農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
- 永山 敏廣 東京都健康安全研究センター食品化学部長
- 廣野 育生 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
- 松田 りえ子 国立医薬品食品衛生研究所食品部長
- 宮井 俊一 社団法人日本植物防疫協会技術顧問
- 山内 明子 日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長

由田 克士
吉成 浩一
鰐淵 英機
(○：部会長)

大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授
大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

答申(案)

フルフェノクスロン

食品名	残留基準値
	ppm
とうもろこし	0.05
大豆	0.05
小豆類 ^{注1)}	0.05
そら豆	0.2
かんしょ	0.02
てんさい	0.5
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.1
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10
西洋わさび	0.2
はくさい	0.5
キャベツ	0.5
芽キャベツ	0.5
ケール	10
こまつな	10
きょうな	10
チンゲンサイ	5
ブロッコリー	5
その他のあぶらな科野菜 ^{注2)}	5
しゅんぎく	10
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	10
その他のきく科野菜 ^{注3)}	2
ねぎ(リーキを含む。)	10
アスパラガス	0.5
わけぎ	10
にんじん	0.2
パセリ	10
セロリ	10
みつば	10
その他のせり科野菜 ^{注4)}	10
トマト	0.5
ピーマン	1
なす	2
その他のなす科野菜 ^{注5)}	3
きゅうり(ガーキンを含む。)	2
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.2
しろりり	0.3
すいか	0.2
メロン類果実	0.02
その他のうり科野菜 ^{注6)}	0.5
ほうれんそう	10
未成熟えんどう	1
未成熟いんげん	1
えだまめ	5
その他のきのこ類 ^{注7)}	0.1
その他の野菜 ^{注8)}	10
みかん	0.3
なつみかんの果実全体	2
レモン	2
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2
グレープフルーツ	2
ライム	2
その他のかんきつ類果実 ^{注9)}	2

注1)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホホワイト豆、ライマ豆及びレンズを含む。

注2)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注3)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

注4)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注5)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注6)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろりり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注7)「その他のきのこ類」とは、きのこ類のうち、マッシュルーム及びしいたけ以外のものをいう。

注8)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

食品名	残留基準値
	ppm
りんご	1
日本なし	0.5
西洋なし	0.5
もも	0.1
ネクタリン	0.7
すもも(プルーンを含む。)	0.2
おうとう(チェリーを含む。)	2
いちご	0.5
ぶどう	2
綿実	0.03
茶	15
その他のスパイス ^{注10)}	10
その他のハーブ ^{注11)}	10
魚介類	2

注10)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注11)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレスン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。